

CAGLIERO¹¹

カリエロ11

サレジオ会宣教ニュース N.53 - 2013年5月

サレジオ会宣教部門によるサレジオ会共同体・サレジオ・ミッションの友人のための通信



サ

レジオ会員の皆さん、サレジオ・ミッションの友人の皆さん！

最高の「宣教の日」である聖霊降臨を待ちながら、心からのごあいさつを申し上げます！ 復活節のあいだ、私たちは使徒言行録を読み

ます。「異邦人」に、なぜ、どのようにイエス・キリストが告げ知らされたか、新たに生まれたキリスト者たちの信仰の旅路、教会を一から築き上げるために取られた方策について、私たちは初代教会から学びます。エルサレムで起きた教会への最初の迫害によって、ローマ帝国での福音の広まりが早まったように、私たちの時代にも、世界各地で同じことが起きています。

60年前、中国の教会のほとんどの施設(学校、病院、出版事業、福祉事業)は国に接収され、5千人以上の外国人宣教師は国外退去になりました。しかし、今日、非常に制限された状況の中、中国にはイタリアよりも多くのキリスト者があり、私たちは信徒の宣教の熱意に驚かされます。南京のプロテスタントの出版社は過去30年に聖書を1億部以上出版しました。1949年から2012年の間に、海外からの宣教師が来ない中、プロテスタントの諸共同体は(少なく見積もって)100万人から7千万人に成長し、カトリック教会は300万人から1200万人になっています。すべては、多くの素朴な中国人キリスト者と牧者たちの粘り強く、力強い、宣教する信仰のおかげです！ 教皇ベネディクト十六世の望んだ5月24日の中国の教会のための祈りは、中国の信徒をより親しく感じるためにとても良い機会になります！

ヨーロッパのキリスト者の沈黙の背教(私たちはすべてを所有していますが信仰を失いました)、アメリカ大陸の多くのカトリック信者の棄教(何百万ものカトリック信者が新興宗教に走ってしまいました)の時代にあって、中国の教会の成長は、今日、使徒言行録のダイナミズムを垣間見させてくれます。

福音化された、福音化する共同体の再出発のため、皆さんの聖霊降臨の祝いが実り豊かでありますようにお祈りします！

Václav Clement

宣教師
ヴァツラフ・クレメンテ神父

「キリスト者の助け聖マリアへの信心を常に広めてください」

サ

レジオ会の宣教の使命においてなくてはならない本質的な要素、それはマリアの存在です。マリアが共にいてくださることは典型的な福音的確信であり(参照 2ヨハネ1・12、使徒1・14)、ドン・ボスコが深く生きた、

信仰における確かなことでした。教会の営みにおけるこのマリアの積極的な存在は、キリスト者の助けという称号によってよく表現されています。ドン・ボスコの宣教師たちへのはなむけの言葉は、心を配って培うべきこの「信心」を勧めています。(……)

キリスト者の助け聖マリアという称号を用いることにより、サレジオ会カリスマは宣教の次元に開かれます。サレジオの宣教活動の特徴の一つは、人々の間にキリスト者の助けマリアへの信心を広めること、主要な聖母の祝日を祝い、冊子や聖画を出版し、世界各地に聖母に捧げられた教会を建てることであり、それはドン・ボスコの使徒的、教育的カリスマの普及の目に見える表れになっています。「霊的遺産」にドン・ボスコは書いています。「もし私たちが聖母への信頼を保ち続け、聖母への信心を盛んにし続けるなら、聖なるおとめマリアは確実にサレジオ会とその事業を保護し続けてくださるでしょう。」(…)



キリスト者の助け聖マリア
ババアニューギニア

バスクアーレ・チャーベス神父

(サレジオ会カリスマの文化内開花Atti 411)

「私たちの国を離れて宣教師となるよう主が呼んでおられるなら……行きなさい！」

私

は南インドのケララ州に生まれました。私たちの小教会出身の65人の司祭のうち多くの多くが休暇で戻ったときに宣教師としての体験を分かち合うのを、私は侍者として奉仕しながら聞いていました。私は自然と自問するようになりました。「祭壇で神父様の近くにいられるなら、いつか自分も祭壇でミサを捧げられるのでは」。後に、サレジオ会の召命担当者が教会を訪問したことをきっかけに、私は14歳のとき召命キャンプに参加しました。キャンプで過ごしているとき、私は宣教師として北インドのコルカタ州へ行きたいという望みを伝えました。

1994年、故郷から2400キロ離れたその地で、私は志願者として歩みはじめました。文化も言葉も全く新しいものでした。修練期後の期間の終わりに、海外宣教師になりたいという望みを管区長に話しました。管区長は、識別のためにさらに時間を取



アフリカ大湖水管区 管区長
カミエル・スウェルタヴァガー神父へのインタビュー
(仏語、英語字幕あり)

vimeo: <http://vimeo.com/64393565>



るようにと助言してくれました。司祭叙階の後、私は司牧のためにネパール語を覚えなければならない小教区に任命されました。その年月の間、私は国を出て宣教師として働きたいという望みを再び表明しました。その間、識別の助けとして、管区長は私を新たな小教区に任命しました。私はそこで、地元のベンガル語の読み書きを勉強し、さらに新たな文化に適応しなければなりません。管区長は、個人の黙想の機会も与えてくれました。管区長と地域顧問と相談しながら、個人的な振り返りと祈りをたくさんした後、私は総長に手紙を書きました。驚いたことに、私は中米のグアテマラ管区に任命されました。宣教師になりたいという私の望みを伝えたときの母の言葉を、私は決して忘れないでしょう。「……お前は遠くへ行ってしまったことね。でもお前は司祭になりたかった、そして今、司祭になった。お前は宣教師になりたかった、そしてコルカタで宣教師になっている。今、このインドを離れて宣教師になるよう主が呼んでおられるとお前が確信するなら、行きなさい!」

ローマとトリノでの新宣教師研修コースはたくさんの霊的、実践的な示唆を与えてくれ、私は自分の宣教召命にますます情熱を感じるようになりました。ヴァルドッコで宣教師の十字架を受けた後、誰



一人知り合いのいない、文化も言葉もわからないグアテマラに到着しました。私の気持ちを想像できるでしょうか……。しかし、すばらしいサレジオ会精神に出会い、すぐにわが家にいるように感じました。まだスペイン語を覚えていなかったのに、相手を理解しコミュニケーションを取るために苦勞しなければなりませんでした。新しい文化と言葉の中でもういち子どもになったように感じたとき、それまでの体験が大いに助けになりました。もちろん大変でしたが、私の心は意気消沈することなく鼓動しつづけました!

今私は、グアテマラ、ペテンのサン・ベニートの新しい共同体の一員になっています。地元の状況に入って行くのに苦勞はありましたが、神の恵みにより、生活は軌道に乗っています。宣教師になるには勇気がいられます。どこを向いても挑戦を投げかけられます。しかし、その挑戦を受けなければ決して成長しません。宣教師の召命を感じる人がその挑戦を受けると、私は切に願います。主の助けと導きには決して事欠かないでしょう!

インド出身、グアテマラの宣教師
シジュ・ジェームス・トットゥブラトゥ神父

アメリカ大陸への新宣教師求む

管区-国	必要な言語	環境、必要な資質
ARS アルゼンチン	スペイン語	特にパタゴニアのための宣教師
BOL ボリビア	スペイン語、ケチュア語、アイマラ語	諸部族(ケチュア、アイマラ)の中で教育(学校)と社会経済的開発を軸にした福音宣教
BRE ブラジル-レシフェ	ポルトガル語	サレジオ会員は少ない、北東ブラジルの貧しい地域での福祉事業
PER ペルー プカルパ使徒座代牧区	スペイン語、地元の言語	1.2009年に委託されたプカルパの使徒座代牧区、宣教師は少ない、先住民族の人々 2.宣教地-ヴァッレ・サグラド(ケチュア) 3.宣教地-コリマグアス(サン・ロレンソ)
SUE SUO アメリカ合衆国 移民司牧	英語、スペイン語	ラテン・アメリカ系移民の司牧(教会、ユースセンター、オラトリオ、社会的啓蒙活動)



サレジオ会の宣教の意向

世界各地の若い中国人移民への福音宣教のため

サレジオ家族のメンバーが、世界各地の私たちの事業に中国人移民を迎える機会を歓迎し、信仰を分かち合い、福音の扉を彼らのために開くことができますように。

中国-世界で最も人口の多いこの国には約13億人が暮らし、中国本土の外、世界各地に約1億人の中国系移民が暮らしています。数多くの中国系移民、特に若者に福音を運ぶ使徒たちを神が興してくださるよう祈りましょう。言語的・社会的・文化的な複雑さのため、多くの人を中国人を警戒の目で、あるいは民俗性への好奇の目で見ますが、使徒的な視点が欠けていることがあります。中国系移民はアフリカだけでも2500万人を数え、その大多数は若い労働者です。

